2014年
環境報告書

Nasu Material Corporation Environmental Report

NASU-MATERIAL

那須マテリアル株式会社

http://www.nasu-material.co.jp

報告書対象組織

那須マテリアル株式会社

本社工場　　　　　　（栃木県大田原市）
東北事業所　　　　　（福島県西白河郡西郷村）

報告書対象期間

2013年 4月 1日　～　2014年 3月31日

目　　　次

1. 会社概要（グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧）……… 2
2. 工場施設及び設備の概要…………………………………… 3
3. 環境方針…………………………………………… 4
4. EMSの取り組み-（1）…………………………………… 5
EMSの取り組み-（2）…………………………………… 6-7
5. 教育訓練…………………………………………… 8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例…………………………… 9
7. 太陽光発電事業について…………………………………… 10
8. 地域社会への取り組み…………………………………… 11
9. その他の環境活動…………………………………… 11

1．会社概要

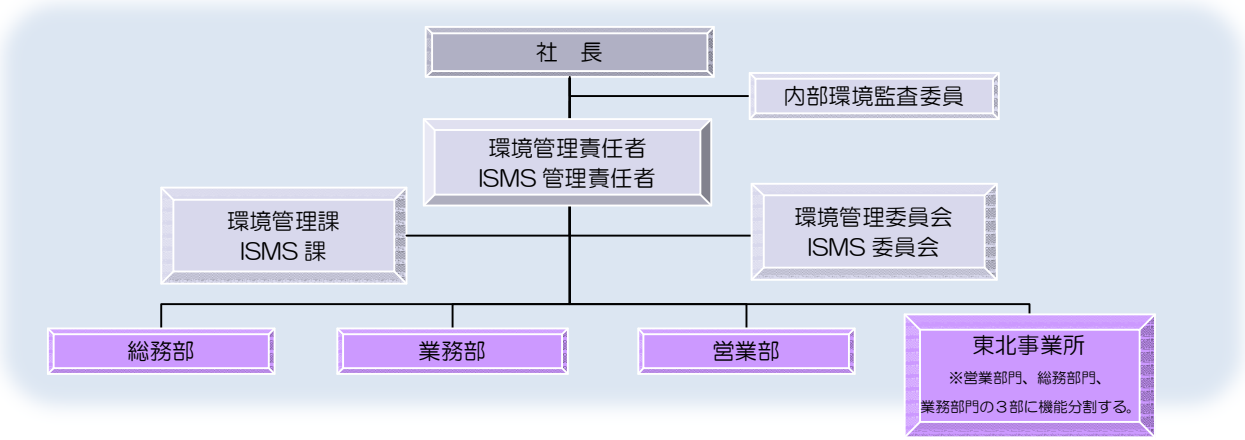
会社概要

社　　名	那須マテリアル株式会社	資 本 金	56,000,000円（平成26年3月現在）
創設年月日	平成 9年 9月 9日	役　　員	代表取締役　星　彰治
操業開始日	平成12年 4月 1日		取 締 役　星　豪紀
本　　社	栃木県大田原市北金丸2122		取 締 役　星　祐見子
東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5		監 査 役　高梨　友子

グループ会社履歴

1997年 9月　那須マテリアル株式会社を設立
2000年 3月　栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
　　栃木県産業廃棄物処分業許可を取得
2002年11月　福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
　　12月　宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
2003年 6月　星　彰治が代表取締役に就任する
2004年 1月　那須マテリアル株式会社本社ＩＳＯ14001の認証を取得
2005年 3月　栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
　　栃木県産業廃棄物処分業許可を更新
2006年 4月　福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として
　　東北事業所を開設する
　　9月　一般労働者派遣業許可を取得
　　10月　群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
　　東北事業所を追加登録
2007年 8月　那須マテリアル株式会社本社・東北事業所
　　ＩＳＯ27001の認証を取得
　　9月　秋田マテリアル株式会社を設立
　　10月　ＩＳＯ14001更新審査合
　　11月　福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
　　12月　宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新
2008年 1月　エヌズホールディングス株式会社を設立
　　5月　秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業
　　許可を取得
　　12月　郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
2009年 4月　那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了
2010年 3月　栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
　　栃木県産業廃棄物処分業許可を更新
　　7月　ＩＳＯ27001　更新審査合格
　　9月　茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
　　11月　ＩＳＯ14001　更新審査合格
2011年 9月　栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」に
　　適合認定（処分業・収集運搬業）
　　11月　群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
　　群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」に
　　適合認定
2012年 1月　福島県において「優良産廃処理業社認定制度」に
　　適合認定
2013年 2月　太陽光発電設備（第一期）での売電を開始
　　4月　太陽光発電設備（第二期）での売電を開始
　　12月　東北事業所にて太陽光発電事業の開始

組織体制



環境関連グループ会社一覧

エヌズホールディングス株式会社
本社／〒961-8061　福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5
　　ＴＥＬ. 0248-48-0099
大田原支店／〒324-0011　栃木県大田原市北金丸 2122
　　ＴＥＬ. 0287-20-2660

秋田マテリアル株式会社
　〒018-00402　秋田県にかほ市平沢字深谷地 16-8
　ＴＥＬ. 0184-74-5277

2. 工場施設及び設備の概要

本社工場

所　在　地　　栃木県大田原市北金丸 2122
敷地面積　　33,510 ㎡
業務内容　　●OA 機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●シリコンスクラップの売買及びソーラーグレードシリコンインゴットの売買
●太陽光を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械機器の販売　設置
●環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育
●建設資機材・環境機器のレンタル事業

保有設備　　（本社所有）

名　称	数　量	名　称	数　量
破砕機	1	ローリフト	1
粉砕機	1	トラックスケール	1
被覆電線処理装置	1	プリンター付デジタル計量器	1
発泡スチロール減容再生機	1	2ｔトラック	2
フォークリフト	2	4ｔトラック	1

保有設備　　（本社レンタル品）

名　称	数　量
3.8m敷鉄板	150 枚
三脚付光波プリズム	3
バックホウ油圧ショベル	2

本社事務所

東北事業所

所　在　地　　福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5
敷地面積　　2,940 ㎡
業務内容　　●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買
●太陽光を使用した発電業務、電力の販売

保有設備　　（東北事業所所有）

名　称	数　量
70ｔ圧縮機	1
フォークリフト	2
プリンター付デジタル計量器	1
シリコン自動選別機	1

東北事業所

3. 環 境 方 針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011 年 3 月 11 日発生の「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また 2006 年 4 月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
   (1) 太陽光発電業務における電力の供給
   (2) 電力及び軽油の消費削減、及び CO2 排出量の削減
   (3) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
   (4) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
4. これらの環境目的を従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004 年　6 月 18 日
改定：2013 年　3 月 31 日

那須マテリアル株式会社
代表取締役　　星　　彰　治

4. ＥＭＳの取り組み（1）

環境目的・目標一覧（全社分）

区　分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始　10 年度目	
				2013 年（H.25）度目標 期間：2013 年 4 月～ 2014 年 3 月	目標の使用量、排出量等
1. 省資源対策	1. 電力使用量の削減①（100Ｖ）	本社の照明・事務機器・業務部関連設備、東北事業所関連の照明・事務機器・業務部門関連の施設設備等の稼働に伴う電力の消費	H21 年度想定実績値： 74,170kwh （本社H18 年度実績値+東北H21 年度想定値）	■基準値比 本社 6.6% 東北 6.0%　削減	69,398kwh
	2. 電力使用量の削減②（200Ｖ）	東北事業所の業務部門関連設備（プレス機他）稼働に伴う電力の消費 ※本社は該当しない	H24 年度実績値： 7,220kwh	■基準値比 1.0%削減	7,148kwh
	3. 作業資材の消費削減	業務部関連の作業資材の消費 ※基準は手袋の消費数	H23 年度消費量 2,005 双	■基準値比 2.0%削減	1,965 双
	4. 水道水使用量の削減	東北事業所で使用している水道水の消費	H23 年度消費量 174 ㎥	■基準値比 2.0%削減	171 ㎥
2. 廃棄物等排出対策	1. 車輌からの排気ガスの削減①	営業用自家用車使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2 排出削減目標に置きかえる	
	2. 車輌からの排気ガスの削減②	業務に関わる車輌（トラック）使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2 排出削減目標に置きかえる	
	3. CO2 の排出削減	電力及び軽油の使用に伴うCO2の排出	H22 年度実績値： 51,985kg	■基準値比 本社 3.0% 東北 2.0%　削減	50,656kg
3. 施設･設備・作業関連の緊急時対策	1. フォークリフト関連の予防保全	敷地外への転落事故、建物・人身等への接触事故、荷積み・荷下ろし時の荷物の落下事故、積雪時に横転・接触事故、油圧ホース等からの油の漏洩	H.17～19 年度実績： 左記緊急事態発生 1 件	■事故発生　0 件	
	2. 業務用トラック関連の予防保全	・待機中の騒音 ・油漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故	H.17～19 年度実績： 左記緊急事態発生 1 件(荷物の落下)	■事故発生　0 件	
	3. 収集運搬作業関連の予防保全	・解体排出作業中の破損事故 ・トラック捕縛作業中の落下事故 ・トラックの過積載運送、運搬中の荷物の落下事故	H.17～19 年度実績： 左記緊急事態発生 1 件（荷物の落下）	■事故発生　0 件	
4. その他環境に有益な項目	1. 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18 年度実績値：本社再生品の実績値（鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計）		H.18 年度実績: 1,113,058Kg	■基準値比 11.0%増加	1,235,494 kg
	2. 会社周辺のクリーン活動		H21 年度実績 1 回	■目標実施回数	2 回
	3. 社員によるﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ・ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ類の回収		H22,24 年度回収実績 ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ　100kg ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ　414.3kg	■目標：基準値比 10%増加	PB:110.0kg DB:455.8kg
	4. 太陽光発電事業による CO2 の削減		データなし	■実績値の集計を実施する。	
	5.ﾄﾞﾚｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰ導入によるｴｺ運転管理		データなし	■目標：無事故ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ評価 75 点以上	

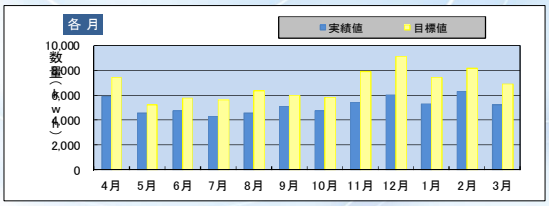
今期は、「太陽光発電事業による CO2 の削減量」「ドライブレコーダーによるエコ運転管理」が、新たに有益な項目として追加されました。「軽油使用量の削減」については、昨年度の目標を達成する事ができ、環境影響評価の結果、登録除外となりました。ドライブレコーダーを導入し、エコ運転への意識向上による成果も要因のひとつと考えられます。

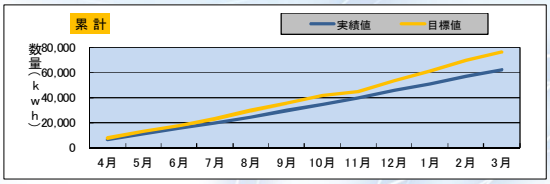
4. ＥＭＳの取り組み-（2）

環境監視実績データ一覧（全社分その 1）

■電力使用量100V･200V

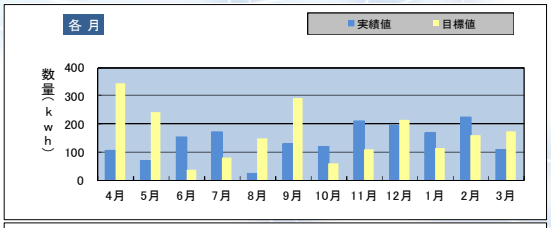
監視データ1		電力使用量 100V･200V （kwh）				H25年度 目標値	基準値 本社6.6%,東北6.0% 削減 目標使用量 ： 81,835 kwh			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H18･21年度 実績値	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H25年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
4月	7,905	7,418	5,905	125.6%	○	7,418	5,905	125.6%	○
5月	5,593	5,255	4,560	115.2%	○	12,673	10,465	121.1%	○
6月	6,165	5,792	4,739	122.2%	○	17,311	15,204	113.9%	○
7月	5,981	5,616	4,305	130.5%	○	22,927	19,509	117.5%	○
8月	6,805	6,392	4,542	140.7%	○	29,319	24,051	121.9%	○
9月	6,332	5,944	5,097	116.6%	○	35,263	29,148	121.0%	○
10月	6,208	5,848	4,782	122.3%	○	41,111	33,930	121.2%	○
11月	8,428	7,939	5,418	146.5%	○	44,416	39,348	112.9%	○
12月	9,642	9,086	6,042	150.4%	○	53,502	45,390	117.9%	○
1月	7,878	7,423	5,289	140.3%	○	60,925	50,679	120.2%	○
2月	8,708	8,188	6,280	130.4%	○	69,113	56,959	121.3%	○
3月	7,375	6,936	5,216	133.0%	○	76,049	62,175	122.3%	○
	87,020	81,837	55,703	146.9%	○				

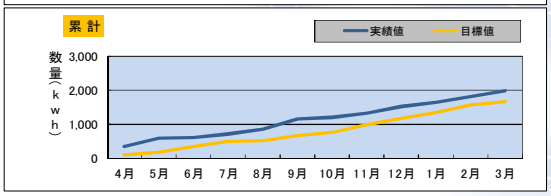




■作業資材の消費量

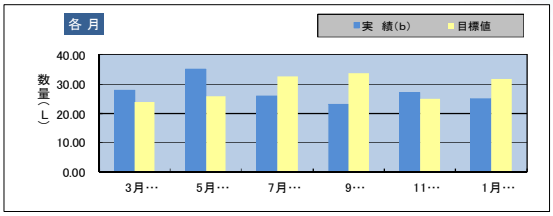
監視データ2		消費量(双)				H25年度 目標値	基準値 2%削減 目標使用量 ： 1,633 双			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H23年度 実績値	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H25年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
4月	355	344	106	324.5%	○	344	106	324.5%	○
5月	255	240	71	338.0%	○	584	177	329.9%	○
6月	25	36	153	23.5%	×	620	330	187.9%	○
7月	87	81	169	47.9%	×	701	499	140.5%	○
8月	155	148	21	704.8%	○	849	520	163.3%	○
9月	297	289	128	225.8%	○	1,138	648	175.6%	○
10月	76	60	119	50.4%	×	1,198	767	156.2%	○
11月	107	111	209	53.1%	×	1,309	976	134.1%	○
12月	209	214	193	110.9%	○	1,523	1,169	130.3%	○
1月	127	112	167	67.1%	×	1,635	1,336	122.4%	○
2月	164	160	224	71.4%	×	1,795	1,560	115.1%	○
3月	148	171	107	159.8%	○	1,966	1,667	117.9%	○
	2,005	1,966	1,667	117.9%	○				

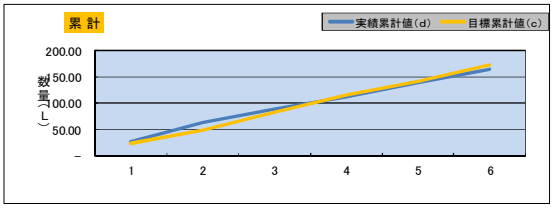




■水道使用量

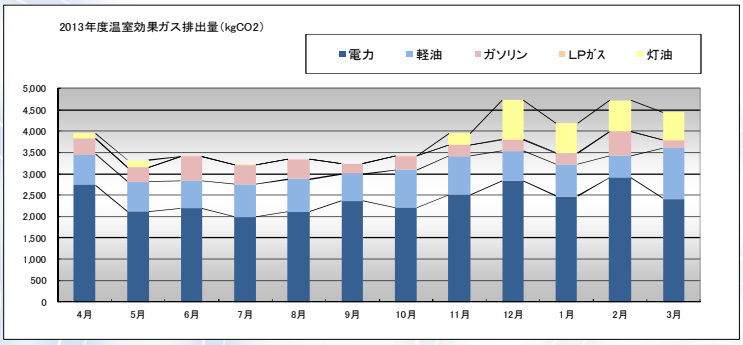
監視データ4		使用量 (L)				H25年度 目標値	基準値 2% 目標値 ： 172㎥			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H23年度 実績値	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H24年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
3月 4月	24.00	23.76	28.00	84.9%	×	23.76	28.00	84.9%	×
5月 6月	26.00	25.74	35.00	73.5%	×	49.50	63.00	78.6%	×
7月 8月	33.00	32.67	26.00	125.7%	○	82.17	89.00	92.3%	×
9 10月	34.00	33.68	23.00	146.4%	○	115.85	112.00	103.4%	○
11 12月	25.00	24.75	27.00	91.7%	×	140.60	139.00	101.2%	○
1月 2月	32.00	31.68	25.00	126.7%	○	172.28	164.00	105.0%	○
	174.00	172.28	164.00	105.0%	○				





■2013年度温室効果ｶﾞｽ排出量（全社）

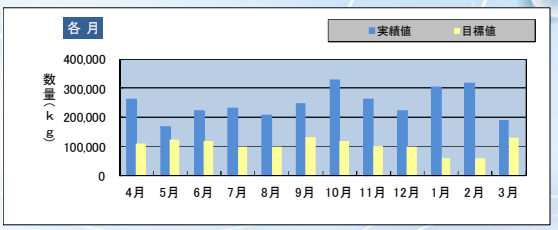
	CO2排出量(kg)					合計
	電力	軽油	ガソリン	LPガス	灯油	
4月	2,740	720	378	5	112	3,955
5月	2,116	694	341	3	169	3,323
6月	2,199	645	568	1	0	3,413
7月	1,997	761	443	1	0	3,202
8月	2,107	777	457	0	0	3,341
9月	2,365	635	241	0	0	3,241
10月	2,219	875	329	1	0	3,424
11月	2,514	905	260	4	274	3,957
12月	2,844	689	267	6	926	4,732
1月	2,482	738	271	6	697	4,194
2月	2,925	502	557	8	737	4,729
3月	2,421	1,183	181	6	655	4,446
合計	28,929	9,124	4,293	41	3570	45,957

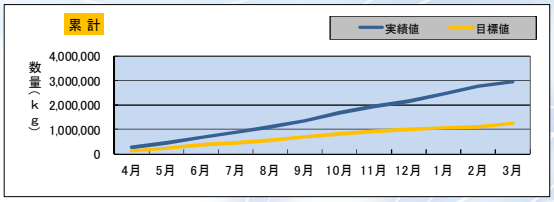


環境監視実績データ一覧（全社分その 2）

■再生入荷物･リサイクル品の取扱の増加

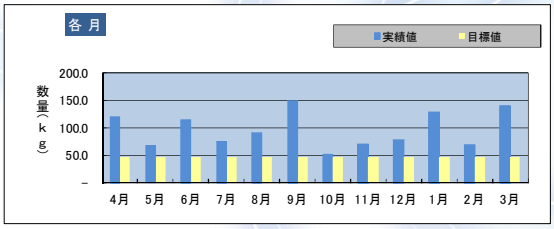
監視データ6		再生入荷物･ﾘｻｲｸﾙ品の取扱の増加（kg）				H25年度目標値	基準値 11%増加 目標取扱量 ：1,235,495			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H26年度実績値	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H25年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
4月	98,010	108,791	261,106	240.0%	○	108,791	261,106	240.0%	○
5月	109,955	122,050	167,752	137.4%	○	230,841	428,858	185.8%	○
6月	108,531	120,469	222,457	184.7%	○	351,310	651,315	185.4%	○
7月	87,509	97,135	230,360	237.2%	○	448,445	881,675	196.6%	○
8月	87,797	97,455	205,563	210.9%	○	545,900	1,087,238	199.2%	○
9月	117,449	130,368	247,055	189.5%	○	676,268	1,334,293	197.3%	○
10月	106,543	118,263	327,500	276.9%	○	794,531	1,661,793	209.2%	○
11月	90,485	100,438	261,545	260.4%	○	894,969	1,923,338	214.9%	○
12月	89,132	98,937	221,237	223.6%	○	993,906	2,144,575	215.8%	○
1月	52,163	57,901	305,176	527.1%	○	1,051,807	2,449,751	232.9%	○
2月	51,023	56,636	317,202	560.1%	○	1,108,443	2,766,953	249.6%	○
3月	114,461	127,052	188,995	148.8%	○	1,235,495	2,955,948	239.3%	○
	1,113,058	1,235,495	2,955,948	239.3%	○				

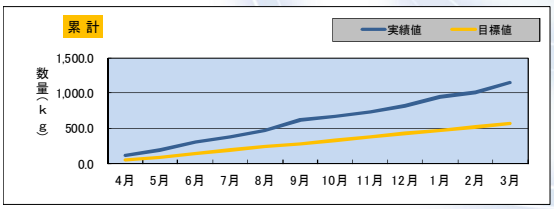




■社員によるﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ･ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ類の回収

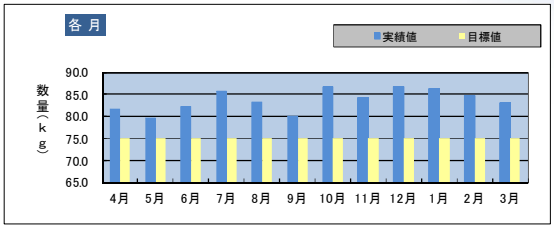
監視データ7		社員によるﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ･ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ類の回収（単位：kg）				H23年度目標値	基準値比 10%増加			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H22,24年度実績値	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H25年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
4月	3.00	47.2	119.5	253.2%	○	47.2	119.5	253.2%	○
5月	9.50	47.2	66.5	140.9%	○	94.4	186.0	197.0%	○
6月	15.00	47.2	113.5	240.5%	○	141.6	299.5	211.5%	○
7月	2.00	47.2	75.5	160.0%	○	188.8	375.0	198.6%	○
8月	31.50	47.2	91.5	193.9%	○	236.0	466.5	197.7%	○
9月	82.00	47.2	149.5	316.7%	○	283.2	616.0	217.5%	○
10月	97.50	47.2	50.5	107.0%	○	330.4	666.5	201.7%	○
11月	72.50	47.2	70.0	148.3%	○	377.6	736.5	195.0%	○
12月	59.00	47.2	79.0	167.4%	○	424.8	815.5	192.0%	○
1月	100.00	47.2	127.5	270.1%	○	472.0	943.0	199.8%	○
2月	26.00	47.2	68.5	145.1%	○	519.2	1,011.5	194.8%	○
3月	28.30	47.2	140.0	296.6%	○	566.4	1,151.5	203.3%	○
	526.30	566.40	1,151.5	203.3%					

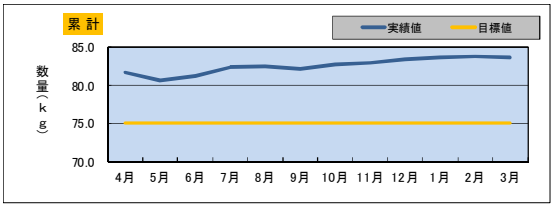




■ドライブレコーダーによるエコ診断

監視データ7		社員によるﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ･ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ類の回収（単位：kg）				H23年度目標値	基準値比 10%増加			
		各月 目標･実績				累計 目標実績				
月	H24年度実績値なし	H25年度 目 標(a)	H25年度 実 績(b)	対目標値 (a/b)	評価	H25年度 目標累計値(c)	H25年度 実績累計値(d)	対目標値 (c/d)	評価
4月		75.0	81.7	108.9%	○	75.0	81.7	108.9%	○
5月		75.0	79.7	106.2%	○	75.0	80.7	107.6%	○
6月		75.0	82.3	109.8%	○	75.0	81.2	108.3%	○
7月		75.0	85.7	114.2%	○	75.0	82.3	109.8%	○
8月		75.0	83.3	111.1%	○	75.0	82.5	110.0%	○
9月		75.0	80.0	106.7%	○	75.0	82.1	109.5%	○
10月		75.0	86.7	115.6%	○	75.0	82.8	110.4%	○
11月		75.0	84.3	112.4%	○	75.0	83.0	110.6%	○
12月		75.0	86.7	115.6%	○	75.0	83.4	111.2%	○
1月		75.0	86.3	115.1%	○	75.0	83.7	111.6%	○
2月		75.0	84.7	112.9%	○	75.0	83.8	111.7%	○
3月		75.0	83.0	110.7%	○	75.0	83.7	111.6%	○
	0.00	75.00	83.70	112%					





今年度は、電力 200v の使用量について、様々な指標を検討し、総合的に電力消費量を削減できるよう、100v・200v の使用量を合わせて取組み、目標も達成する事ができました。

また、「太陽光発電業務」や「社員による有価物の回収」等、環境に有益と思われる項目も増えてきていますので、今後も目標達成に向け、努力して参ります。

5.　教育訓練

2013度教育訓練計画（全社分）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関
1. 一般教育	・ＥＭＳ概要、環境保全、環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ活動全般 （方針、目的目標、ＥＭＰ等含む）	本社及び東北事業所の一般従業員全員	1回	5･6月	環境管理課 推進責任者
2. 特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	・総務課関連手順教育 （省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5･6月	部門責任者 推進責任者
		・業務部関連手順書教育 （省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5･6月	部門責任者 推進責任者
		・東北事業所関連手順書教育 （省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5･6月	環境管理課 推進責任者
3. 専門教育	・産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新・新規)	該当なし	―	―	指定会場
4. 内部監査員教育	・環境監査員養成講座 （環境管理責任者主催コース）	内部監査員候補者　該当なし	―	―	環境管理責任者
	・環境監査リーダー（主任監査員）教育	主任監査員に昇格し、初めて監査リーダーを務める者 該当なし	―	―	環境管理責任者
	・環境監査員ブラッシュアップ教育	認定済監査員 （監査の前の訓練）	1回	11月	内部監査リーダー
5. 緊急事態対応訓練	・わが社が特定している緊急事態 ・緊急事態発生時での対応及び処置 ・緊急事態の実際の訓練	緊急事態が想定される業務に従事している従業員（本社および東北）	1回	10月	部門責任者 推進責任者
		会社全体に関わる緊急事態（火災や大地震想定）：全従業員	1回	防災訓練 12月	環境管理課 推進責任者

当社では、毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。

特定教育

机上での教育と併せ、現場での想定訓練を実施しております。

一般教育

教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して、実施しております。

緊急事態対応訓練

毎年１回、緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施し、対応手順の確認や、テスト、備品類の整備を実施しております。

6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例

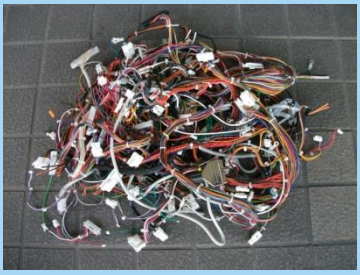
出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

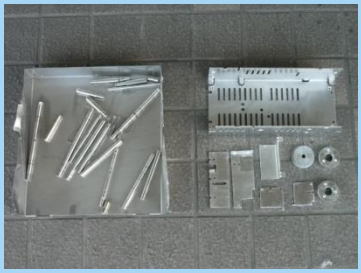
また、排出事業者からのご要望がございましたら、リサイクル報告書、廃棄証明書、廃棄（解体）写真の提出、または搬入時に担当者の現場立会い等により、廃棄物の適正処理状況を確認して頂いております。

ＰＯＳレジの再資源化の場合

OPEN

解体及び
素材の分別

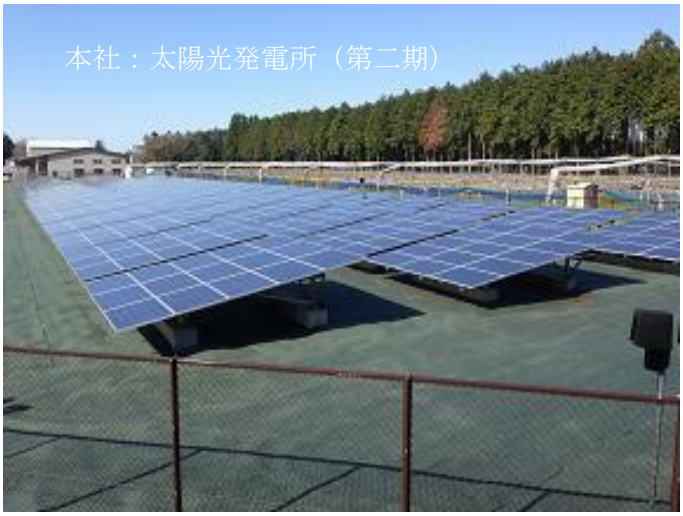




リサイクル処理報告書、
廃棄証明書の作成

7. 太陽光発電事業

当社は、ソーラー用ウェーハ及びインゴットを原材料として再生利用している有価物や、産業廃棄物のリサイクルを行っています。長年にわたり太陽電池産業に関わり、培ってきた知的財産を効果的に活かせると判断し、太陽光発電事業（第一期）を 2013 年 2 月より開始致しました。2013 年 4 月に太陽光発電事業（第二期）を開始し、2013 年 12 月には、東北事業所屋根に太陽光発電設備を設置しました。いずれも、ドイツのテュフラインランド社から証明書とライセンスを取得した、自社ブランドのモジュールを使用しています。



本社太陽光発電所　航空写真①

本社太陽光発電所　航空写真②

8. 地域社会への取り組み（クリーン活動）

本社及び東北事業所の工場周辺を当社の従業員が、一定期間毎にクリーン活動を実施しております。

本社工場付近クリーン活動の様子（5 月、11 月）

9. その他の環境活動

当社では、従業員によるペットボトルと古紙の回収のリサイクル活動を行っております。

今年度より、ペットボトル・古紙に加え、アルミ缶とスチール缶のアイテムを増やし、リサイクル活動の幅を広げております。

アルミ缶

スチール缶

古　紙

ダンボール

最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

2014 年　5 月

那須マテリアル株式会社

代表取締役　星 [illegible]